

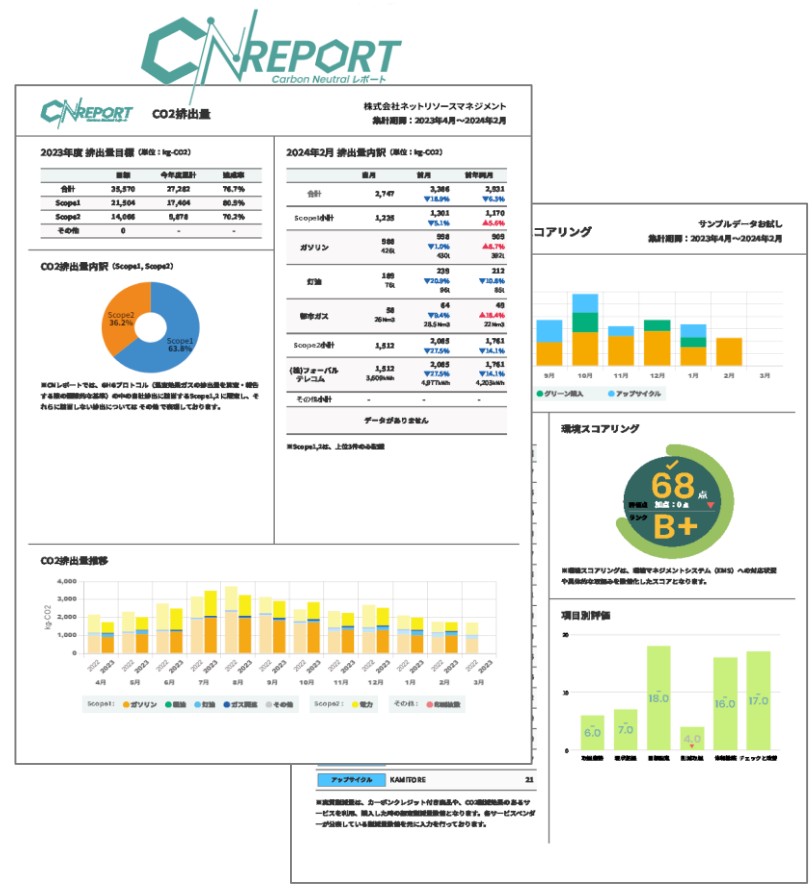


CNレポート ご紹介資料

2024年6月26日 更新

CNレポートとは

自社の **脱炭素経営への取り組み状況を「見える化」** するサービスです。
 環境に配慮した経営をしている企業としてPR・情報開示することで、信頼の獲得と企業価値の向上につなげます。



脱炭素経営とは



脱炭素経営とは、**気候変動対策（≒脱炭素）の視点を織り込んだ企業経営**のことをいいます。

大手企業は脱炭素経営に着手

ESG投資市場の拡大などにより、上場会社をはじめとした大手企業はサプライチェーン全体のCO₂排出量の算定と情報開示が**ほぼ義務化**に近い状態となっています。

そのため自社以外のCO₂排出量の算定（Scope3）のために**取引先での排出量の情報開示要請が年々増加**してきています。

中小企業における脱炭素経営の始め方

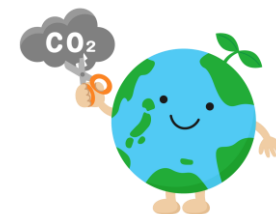
中小企業層における脱炭素経営は

自社のCO₂排出量の算定（Scope1、Scope2）と開示が第一歩

- ・ 取引先からの要望に対応
- ・ 自社の排出量（Scope1,2）の可視化
- ・ 負担ではなく利益につながる
- ・ 対外的なアピールに活用

- ⇒ 取引の機会喪失の防止と新たな機会創出に！
- ⇒ 削減活動の指針となる！
- ⇒ エネルギーコスト削減や業務効率化による利益に！
- ⇒ 対外的な評価を獲得し、「選ばれる企業」に！

早期対策が信用を
勝ち取るカギ



既存取引の継続や新規取引の獲得、金融機関からの評価や採用活動などにおいて、大きく影響！

Point

01

環境スコアリング診断



自社の脱炭素経営への取り組み状況をスコアとして「見える化」。
これから取り組むべき課題が明確になります。

ISO14001に準拠した環境マネジメントシステム（EMS）構築の基本的な要求事項について12問の簡単な設問に回答していただくことで、自社の『現時点』での企業体制の状況を確認できます。環境への取り組みを何から始めていけば良いか課題を発見していただけます。



Point

02

CO2排出量・削減量の推移モニタリング



自社の燃料 (Scope1) と電気 (Scope2) の排出量・実質削減量をダッシュボードで表示。
削減目標を設定することで、脱炭素経営の達成度を把握することができます。

中小企業が求められる情報開示は自社でのCO₂排出量。

CNレポートではあえてScope1とScope2に特化することで、必要かつ最小限の手間でGHGプロトコルに基づくCO₂排出量を自動で算定します。

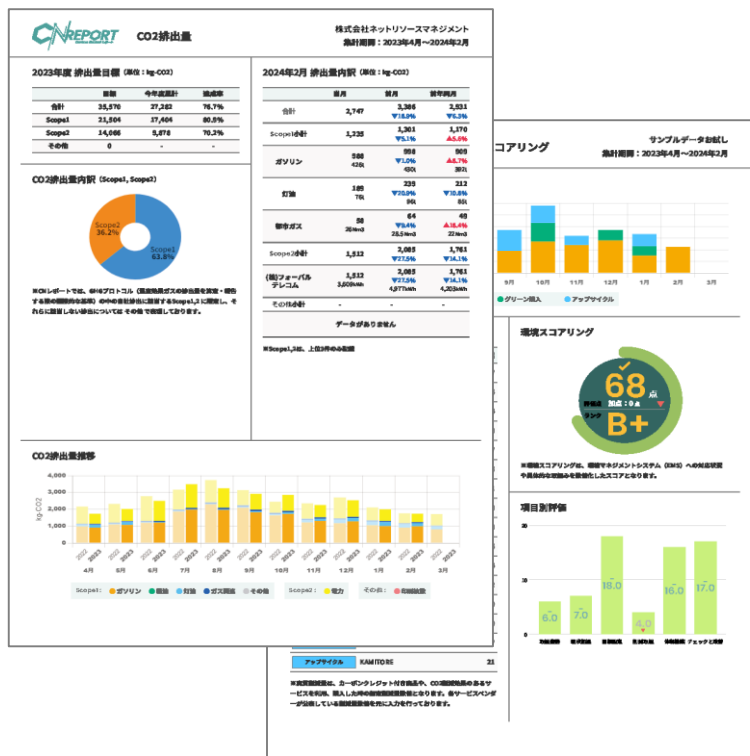


Point 03

脱炭素経営サポート



社内外に対しての情報開示ができるレポートが自動で作成できます。
 脱炭素経営への取り組みの成果を開示することで、お客様からの信頼獲得につなげます。
 CO₂排出量だけではなく、他社にはない実質削減量や環境スコアリングによる企業体制も開示でき、
 企業アピールにおいてアドバンテージとなります。



CNレポートは、こんな方におすすめ

- 「環境への取組みの必要性は理解しているが、何から始めれば良いのかわからない」
- 「知識も人的リソースも足りていない」

